
しゅごキャラ！ガーディアンVSダークガーディアン！！

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しゅごキャラ！ガーディアンVSダークガーディアン！！

【Nコード】

N9010M

【作者名】

ユーリ

【あらすじ】

ダークガーディアンによって誘拐された亜夢を救うため、ダークガーディアンの本拠地に乗り込んだ歌唄達。そこで待ち受けていたのは、敵によって洗脳された亜夢の姿だった。果たして歌唄達は亜夢を救う事ができるのか！？3部作小説、ここに完結！！

（前書き）

この小説は『しゅごキャラ！登場、ダークガーディアン！！』の続編小説です。

ややの新たなキャラなりがオリジナルで出る他、単行本8～9巻のネタバレがあります。

キャラクター紹介

ヒナモリアム
日奈森亜夢：この物語の主人公で、聖夜小学校のガーディアンでジヨーカーをしている女の子。表向きはクール&スパイシーキャラだが実は意地っ張りキャラ。菜夢達ダークガーディアンによって誘拐され、洗脳されてしまう。しゅごキャラはラン、ミキ、スウ、ダイヤの4人。

ホシナウタウ
星名歌唄：かつてイースター社に所属していた、14歳のアイドル。亜夢とは親友同士。本名は月詠歌唄で、月詠幾斗の妹。しゅごキャラはイルとエルの2人。

ルル・ド・モルセール：今作のもう1人の主人公で、アニメオリジナルキャラクター。イースター第3の刺客だが、私利私欲ではないらしい。名古屋人とフランス人のハーフで、時々名古屋弁で話すが普段は標準語。しゅごキャラはナナ。

ホトリタダセ
辺里唯世：聖夜小学校ガーディアンのキングスチエアをしている少年で、亜夢の憧れ。『王子』という言葉を聞くと王様キャラにキャラチェンジしてしまう。しゅごキャラはキセキ。

フジササキ
藤咲なぎひこ：聖夜小学校ガーディアンのジャックスチエアをしている少年。実はかつてのクイーンズチエア、なでしこと同一人物で、女形舞踊の勉強のために女装をしていたが亜夢には内緒にしている。

しゅごキャラはてまりとリズムの2人がいる。

真城^{マシロ}りま：聖夜小学校ガーディアンズのクイーンズチエアをしている少女。見かけはクールだが、実はお笑い好き。今回の物語でなぎひこの正体に気づく。しゅごキャラはクスクス。

結木^{ユイキ}やや：聖夜小学校ガーディアンズのエースチエアをしている少女で、一番年下。普段は赤ちゃんキャラだが、頑張っている一面も。

しゅごキャラはペペ。

鬼怒川^{キヌガワ}菜夢^{ライム}：ガーディアンに敵対するダークガーディアンズのリーダー、ダークジョーカーをしている少女。亜夢に髪型が似ている。自分1人で物事を解決しようとする傾向がある様子。しゅごキャラはゼアスとミヤ。

獅童^{シドウ}時臣^{トキオミ}：ダークガーディアンズのダークキングスチエアをしている少年。菜夢の側近的存在で、彼女の事が好き。しゅごキャラはライ。
獄猿^{ゴクエン}静海^{セイカイ}：ダークガーディアンズのダークジャックスチエアをしている少年。熱血漢あふれる男で、土佐弁で話す。髪の色は赤で、地毛らしい。しゅごキャラはドロワ。

烏条^{ウジョウ}音譜^{オンフ}：ダークガーディアンズのダーククイーンズチエアをしている少女。歌唄に容姿が似ているが、歌唄と違い髪形はシングルテール。歌唄の事を亜夢から聞いており、心理的に歌唄を揺さぶろうとする。しゅごキャラはティンク。

兔帳^{トバリ}閨夜^{ネヤ}：ダークガーディアンズのダークエースチエアをしている少女。1人称は『アチシ』で、菜夢の事を菜夢っちと呼ぶ。髪型は顔の下につくツインテール。しゅごキャラはヴィス。

ラン&ミキ&スウ&ダイヤ：亜夢のしゅごキャラ。亜夢とのキャラなりはそれぞれ、アミュレットハート・アミュレットスピード・アミュレットクロバー・アミュレットダイヤ。4人一緒に合体する事で、アミュレットフォーチューンとなる。

イル&エル：歌唄のしゅごキャラ。よくケンカするが実は仲良し。歌唄とのキャラなりはイルガルナティックチャームで、エルがセラフィックチャーム。2人一緒に合体する事で、新たなキャラなり・

ウェディングチャームとなる。

ナナ：ルルのしゅごキャラ。ルルよりも名古屋弁で話す事が多い。
今回初めてルルとキャラなりする。ルルとのキャラなりはドロシア
レインボー。詳細は不明だが、もう1人のしゅごキャラと合体する
事でドロシアプリンセスとなる。

キセキ：唯世のしゅごキャラ。生意気な王子様キャラ。唯世とのキ
ャラなりはプラチナロワイヤル。

てまり&リズム：なぎひこのしゅごキャラ。なぎひことのキャラな
りはてまりがヤマトマイヒメで、リズムがビートジャンパー。

クスクス：りまのしゅごキャラ。りまと同じくお笑いが好き。りま
とのキャラなりはクラウンドロップ。

ペペ：ややのしゅごキャラ。実はややよりしつかり者。ややとのキ
ャラなりはディアベビー。この小説では新たなキャラなりとして
スピローブベビーが登場。

闇キャラ：しゅごキャラが持ち主の悪意ある心が強くなって生まれ
た存在。故にしゅごキャラより能力は格上。持ち主とダークキャラ
なりできる他、持ち主以外ともできる様子。

ミヤ&ゼアス：莱夢のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。ミヤは持ち
主ではない亜夢とキャラなりしている。亜夢とのダークキャラなり
はアミュレットダークネスで、莱夢とのキャラなりは他5体のしゅ
ごキャラを取り込んだファントムウィザード。ゼアスのキャラなり
は不明。

ライ：時臣のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。時臣とのダークキ
ャラなりはキングダムシャドー。

ドロワ：静海のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。静海とは違い、普
段は標準語。静海とのダークキャラなりはイフリートダンサー。

UIS：閨夜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。閨夜とのキャラな
りはブラッディローズ。

ティンク：音譜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。音譜とのダーク
キャラなりはジャミングパルサー。

ダークガーディアン の5人組に誘拐された亜夢を助けるために、ル
ルと歌唄達は最近できた遊園地にやって来た。

3人の刺客に苦戦しながらも何とか城までやって来た歌唄達。

そこで待っていたのは3人をまとめ上げる2人と、ダークガーディ
アンによって洗脳され敵になった亜夢だった。

亜夢の圧倒的な強さに苦戦する歌唄達だが、ルルのしゅごキャラ
ナナが覚醒。

ルルはナナとキャラなりし、ドロシアレインボーとなった。

ルル・ド・モルセール

「ドロシアレインボー・・・これが、アタシのキャラなり・・・」

獅童時臣

「チィッ・・・まさかルルがキャラなりできるようになるとはな・・・」

鬼怒川菜夢

「面倒な事になったわね。」

日奈森亜夢

「とりあえずアタシ達は屋上に行きましょう。」

亜夢達3人は消えた。

シュパッ！

星名歌唄

「あ、待ちなさい！！」

獄猿静海

「オマエ達にはまずオレ達と戦ってもらっぜよ。」

烏条音譜

「アタシ達3人に勝てたら、リーダー達の元に行けるわよ。」

兎帳閨夜

「ま、そついう事。」

静海達も消えた。

シュパッ！

歌唄

「みんな、中に入るわよ！！」

歌唄達は城の中に入って行った。

辺里唯世

「3つのドアがあるね・・・」

藤咲なぎひこ

「ボクとりまちゃんは赤のドアに入るよ。」

真城りま

「行きましょう。」

なぎひことりまは赤の部屋に入った。

唯世

「ボクとややちゃんは黄のドアだ。行くよややちゃん！」

結木やや

「はい！」

唯世とややも黄の部屋に入った。

歌唄

「じゃあ、アタシ達も・・・」

ルル

「行きましょうか。」

歌唄とルルは、残った緑の部屋に入って行った。

なぎひことりまは静海と戦っていた。

静海

「炎獄波!!」

静海は足を叩きつけ、走る火柱を放つ。

ゴオオオオオ・・・

なぎひこ

「アイシクルシュート!!」

なぎひこは冷気のボールを蹴り、火柱を凍らせる。

ドン!

ビキビキビキ・・・

りま

「ジャグリングパーティー!!」

すかさずりまがクラブを投げ、凍った火柱を破壊した。

ブンッ!

バキヤア!!

静海

「さすがに2回目ともなるとキャラなりを使いこなすな。では、これじゃき!城郭炎獄!!」

静海が地面を叩くと、なぎひことりまの周りが火柱に囲まれた。

ゴオオオオオ！！

りま

「熱い・・・！！」

静海

「これはただの周囲火柱ではないきに！時折地面から火柱が突き出す地獄の罨じゃき！！さあ、これをどう防ぐぜよ！！」

りま

「私、熱いの苦手なの・・・」

なぎひこ

「りまちゃん、ゴメン！」

なぎひこはりまを抱きかかえた。

りま

「な、なぎひこ！？」

なぎひこ

「こういった事はボクの方が得意分野なんだ。」

なぎひこは軽快に火柱を避けていく。

なぎひこ

「この感覚、思い出した・・・」

なぎひこは自分の過去を思い出していた。

なぎひこ

「（ボクは確かに完璧な女形にはなれない。それでも構わない！ボクにはボクの踊りがある！！）」

その時、なぎひこのポケットからピンクのしゅごタマが飛び出す。

スポッ！

なぎひこ

「！？」

ポンッ！

ピンクのしゅごタマからてまりが生まれた。

なぎひこ

「てまり・・・」

てまり

「お久しぶりねなぎひこ！」

リズム

「選手交代！」

てまり

「はいな。」

なぎひこ

「ボクの心、アンロック・・・キャラなり！ヤマトマイヒメ！！」

なぎひこはてまりとキャラなりし、ヤマトマイヒメになった。

りま

「2人目のキャラなり・・・あなたが前クイーンズチエアのなでしこなのね？」

なぎひこ

「ええ。では、手早く片づけましょう。」

りま

「はい！」

なぎひこ・りま

「クイーンズワルツ!!」

なぎひことりまは手を交差させ、癒しの光を放つ。

パアアアア・・・

静海

「う・・・うおおおお!!」

静海はドロワとのキャラなりが解け、倒れた。

ドサッ!

クスクス

「りま〜!勝てたね〜!!」

りま

「私だけじゃ無理だった。なぎひこがいてくれたから勝てたのよ。」

なぎひこ

「これで1人倒したわ。」

りま

「他の4人は大丈夫かしら？」

なぎひこ

「少し心配ね・・・」

りま

「そうね・・・って、なぜまだなでしこのままなの？」

なぎひこ

「何となく。どちらも本当の私だから気にしないで」

りま

「ハア・・・」

りまは苦笑いを浮かべていた。

唯世とややも、閨夜と戦っていた。

閨夜

「アンタ達もしぶといね。これだけの力の差を見せつけてもまだ

アチシを倒せると思ってるなんて。」

唯世

「物事に絶対なんて有り得ない！どんなに強大な力でも必ずどこかに突破口があるんだ！ロワイヤルソード！！」

唯世の杖が剣に変わる。

唯世

「ハアアアアッ！！」

唯世は剣を持って閨夜に突っ込んだ。

閨夜

「ムダだっって言ってるんでしょうが！！ボルトローズ・シールド！！」

閨夜は電気をまとったバラの盾を発動し、剣を弾いた。

ズアッ！

バチィ！！

唯世

「！！」

閨夜

「ボルトローズ・ウィップ！！」

閨夜は電気をまとったバラのムチを放つ。

シュツ！

ムチは唯世を絡め取った。

シユルシユル！

唯世

「うわっ！！」

閨夜

「シヨツキング・ボルト！！」

バラのムチからの電撃が唯世を攻撃する。

バリバリバリ！！

唯世

「うわああ！！」

やや

「唯世！！」

閨夜

「力の差は歴然よ！アンタ達がアチシに勝つ事はできないの！！」

閨夜は高笑いしている。

やや

「唯世……（ややが弱いから、唯世が危険な目に……どうすれば良いの……）」

ややは泣きそうになっている。

すると、ペペの心の声が聞こえた。

ペペ『ややたん、諦めないで！ペペはややたんの強い意思から生まれたんだからね！』

やや

「ペペ・・・ややの心、アンロックー！」

パアアアア・・・

やや

「キャラなり！スピローブベイビーー！」

ややは羽衣をまとった姿になった。

唯世

「ややちゃんの姿が変わった！？」

閨夜

「姿が変わっても赤ちゃんは弱いままよ！ボルトローズ・ウィップ
！！」

閨夜はバラのムチを放つ。

ドシュッー！！

やや

「ガラガラ・ボム!!」

ややはガラガラ型の爆弾を投げ、ムチを爆破する。

ブンッ!

ドゴォ!!

閨夜

「な!?!」

やや

「ローブカッター!!」

ややは羽衣を鋭い刃に変え、唯世を縛るムチを叩き斬った。

ザンッ!!

唯世

「ありがとう!まさかややちゃんに助けられるなんてね。」

やや

「ややだってやる時はやるんだからね!!スピリットメリーメリー!!」

ややは傘型のオルゴールを発動した。

ガラガラガラガラ!

閨夜

「う．．．段々眠くなってきた．．．」

唯世

「今だ!!」

閨夜が目をこすっている隙につき、唯世は閨夜に突っ込んだ。

唯世

「ホーリーク라운!!」

唯世はホーリーク라운で閨夜を吹っ飛ばす。

ドン!!

閨夜

「キャアアアア!!」

閨夜はヴィスとのキャラナリが解け、気絶した。

ドサッ!

やや

「勝てたね、唯世!」

唯世

「うん。歌唄ちゃん達は大丈夫かな．．．」

唯世は歌唄達の身を案じていた。

歌唄とルルは、音譜と戦っていた。

音譜

「ブラックウィング！！」

音譜は翼をはためかせ、黒い羽根を無数に放った。

バババババ！！

歌唄

「ホワイトシールド！！！」

歌唄は翼を交差させ盾にし、攻撃を防ぐ。

ガガガガガ！！

ルル

「ペイントスプラッシュ！！！」

ルルもペイント弾を連射する。

ドドドドド！！

音譜

「ブラックシールド！！！」

音譜も翼で攻撃を防いだ。

歌唄

「クツ、隙がない・・・」

音譜

「亜夢に聞いたわよ。あなた、イースターの刺客だったそうね。」

歌唄

「!!」

音譜

「あなた、歌の力で×タマを集めていたんでしょう？そんな事をやっていたのによく亜夢と親友なんて言えるわね？」

歌唄

「う・・・」

音譜

「あなたのやっている事は咎めはないとはいえ犯罪者も同然！あなたに本当の親友なんてできないのよ!!」

歌唄

「うう・・・」

歌唄は俯いている。

ルル

「そんな事ない!!」

音譜

「ん？」

ルル

「アタシは亜夢と知り合って日が浅いけど、亜夢はそんなヒドい事は言わない！あなたの言ってる事は間違っているわ！！」

歌唄

「ルル・・・」

音譜

「生意気な娘ね・・・でもアタシには勝てないのよ！ブラックウィングー！！」

音譜は羽根を無数に飛ばす。

バババババ！！

ルル

「ペイントスプラッシュー！！」

ルルはペイント弾で攻撃を相殺した。

ドドドドドー！！

音譜

「アタシの攻撃を相殺した！？」

ルル

「ドロシアボールー！！シュートー！！」

ルルは虹色のボールを音譜に向けて放つ。

ドン！！

音譜

「ブラックシールド！！」

音譜は翼を交差させ盾にするが、ボールが盾を弾き飛ばす。

バチィ！！

音譜

「ウソ！？」

ボールはそのまま、音譜を吹っ飛ばした。

ドゴォ！！

音譜

「キャアアアア！！」

ドサツ！

音譜

「そんな・・・アタシがこんな娘に負けた・・・」

音譜はティンクとのキャラなりが解け、気絶する。

ルル

「亜夢は歌唄を本当の親友だと思ってる。あんなヤツの言う事真に

受けないで！」

歌唄

「ありがとうルル。あなたに勇気づけられるなんてね。」

ルル

「さあ、行きましょう！」

歌唄

「ええ！」

歌唄とルルは、部屋を後にした。

歌唄達は合流し、真ん中の部屋に集まった。

りま

「みんな撃退したみたいね。」

やや

「あ、紫色の扉が開いてる！」

なぎひこ

「ここから上の部屋に行けるみたいだね。」

歌唄

「みんな、気を引き締めて行くわよ！！！」

ルル達は強く返事する。

唯世

「じゃあ、行こう!」

唯世達は紫色のドアを開け、奥へと進んだ。

唯世達が上の部屋に着くと、そこには時臣とライが待っていた。

時臣

「来たか、ガーディアン共。まさか3人共倒されるとはな。だが、オレは倒せん!ライ、叩き潰すぞ!」

ライ

「承知の上だ。」

唯世

「来るよ!みんな、キャラなりだ!ボクの心アンロック!キャラなり・プラチナロワイヤル!」

やや

「ややの心アンロック!キャラなり・ディアベビー!」

りま

「私の心アンロック!キャラなり・クラウンドロップ!」

なぎひこ

「ボクの心アンロック！キャラなり・ビートジャンパー！！」

歌唄

「アタシの心アンロック！キャラなり・ルナティックチャーム！！」

ルル

「アタシの心アンロック！キャラなり・ドロシアレインボー！！」

唯世達は全員キャラなりする。

時臣

「オレの心、アンロック・・・ダークキャラなり・キングダムシャドー！！」

時臣はライとダークキャラなりし、黄金の鎧を身にまとった姿となった。

手には紫色の剣を持っている。

時臣

「ククク・・・これは獅童家に伝わる秘宝の剣・レオリックセイバー。だがオレがダークキャラなりの力を引き出して使えば、陰雷の剣ダークレオセイバーとなる！！さあ、この一撃を受けてみる！！
獅童・雷獄衝波！！」

時臣は剣を地面に突き刺し、紫色の雷撃をまとった衝撃波を撃ち出した。

バリバリバリバリ！！

歌唄

「ローレライシールド!!」

歌唄は無数の黒蝶を放ち、衝撃波を跳ね返す。

ブアッ!!

バチィ!!

時臣

「チィッ!」

時臣は剣を構え、衝撃波を吸収した。

ギュイィィ・・・

なぎひこ

「あの剣、エネルギーを吸収できるのか!?!」

歌唄

「だったら物理攻撃で攻めるまでよ!!リリントライデント!!」

歌唄は赤い三叉矛を発動し、時臣に突っ込んだ。

ドンッ!!

歌唄

「ハアアアアッ!!」

時臣

「バカが。ダークネスホールド!!」

時臣は剣から紫色のドーム状バリアを発動し、歌唄の攻撃を防ぐ。

ガキーン!!

歌唄

「なっ!?!」

時臣

「甘いんだよ小娘!雷獄衝波!!」

時臣は剣を振り下ろし、衝撃波で歌唄を吹っ飛ばした。

ズンッ!!

歌唄

「キャアアア!!」

ルル

「レスキューロープ!!」

ビュン!

バシッ!

ルルは羽衣を伸ばし、歌唄を受け止めた。

歌唄

「あ、ありがと・・・」

ルル

「亜夢は返してもらっわよ！ー！ドロシアイnpクト！ー！」

ルルは爆発する衝撃波を放つ。

ドゴォー！！

ゴォォォォォ・・・

時臣

「バカめ、そんな技でこのオレの技が防げるかぁ！ー！ダークネスホルド！ー！」

時臣もダークネスホルドを放つ。

ズバァー！！

だが、ルルのドロシアイnpクトは時臣の技を突き破った。

ドンー！！

時臣

「バ、バカな！？」

ルルの技はそのまま、時臣を吹き飛ばす。

ドゴォー！！

時臣

「うわあああ!!」

時臣は地面に叩きつけられ、片ヒザをついた。

ドサッ!

時臣

「なぜ・・・オレの技がこんなヤツに破られたんだ・・・」

時臣は気絶する。

ルル

「私にばかり目がいついて気づかなかったんでしょうが、私の技には補助技がかかっていたのよ。ややのスピリットエネルギーがね。」

やや

「スピリットエネルギーは、技にかけて使う事でその技の威力を数倍に高める事ができるのよ!」

りま

「とりあえずこれで4人倒したけど・・・」

やや

「何も変わってないね。」

なぎひこ

「見て!この部屋の四隅の壁が光りだした!」

唯世

「向こうに見えるピンク色の壁がせり上がってる。4人を倒す事で

スイッチが入ったんだ！」

ルル

「この先に亜夢が・・・」

歌唄

「みんな、行くわよ！！」

歌唄達は、開いた扉の先に進んだ。

りま

「亜夢！」

唯世

「菜夢もいるね。」

進んだ先の部屋では、亜夢と菜夢が待っていた。

歌唄

「待ってて、亜夢！すぐに助けてあげるからね！みんな、キャラナりよ！！」

歌唄達はキャラナりする。

亜夢

「ミヤ、キャラナりよ。」

ミヤ

「承知。」

亜夢

「アタシの心アンロック・・・ダークキャラなり・アミュレットダークネス!!」

亜夢もミヤとキャラなりした。

歌唄

「一気に決める! ホワイトウィング!!」

歌唄は白い羽根を無数に放つ。

ブアッ!

亜夢

「ジャミングミュージック。」

亜夢は黒いタクトを振り、音符のバリアで攻撃を防いだ。

ドン!!

亜夢は歌唄に突っ込んで来る。

歌唄

「ルナティックチャーム! リリントライデント!!」

歌唄はすぐにルナティックチャームにキャラなりし、三つ叉の矛を取り出した。

亜夢

「甘い・・・ダークネスソウル! ブラッドスラッシュ!!」

亜夢は女侍のような姿になり、剣を振り下ろす。

ブン！！

歌唄

「わっ！！」

歌唄は矛を両手で持ち攻撃を防ごうとしたが、亜夢の剣に矛を真つ2つにされた。

ザン！！

歌唄

「そんな！リリントライデントが折られるなんて！！」

唯世

「あの姿、三条君のキャラなりに似ている！」

なぎひこ

「1度見たキャラなりは自由に使えるという事か・・・」

亜夢

「ダークネスジャック！ニードボール・シュート！！」

亜夢はサッカー選手を模した姿になり、トゲのついたサッカーボールを蹴り飛ばす。

ドン！！

なぎひこ

「アイシクル・シュート!!」

なぎひこは氷のボールで亜夢のボールを凍らせた。

ビキキ・・・

程なく、ボールが砕け散る。

バキン!

なぎひこ

「フウ・・・!?!」

亜夢

「ダークネスマイヒメ!ブレイズロープ!!」

亜夢は舞姫のような姿になると、炎を纏った羽衣を伸ばしてきた。

ゴオッ!!

ボッ!!

なぎひこ

「熱っ!!」

りま

「この気迫・・・亜夢は本当に私達の事を忘れちゃったの・・・?」

ルル

「そんな事ない！みんなで戦えば、必ず気持ちは・・・」

亜夢

「ダークネスダイヤ。シャイニングチェーン！！」

亜夢は黒いアミュレットダイヤになり、光の鎖で唯世達を拘束する。

ギョルルル・・・

バシッ！

りま・やや・ルル

「キャッ！！」

唯世・なぎひこ

「うっ！！」

歌唄は咄嗟に空中に飛んだため、無事だった。

亜夢

「ハアッ！！」

亜夢は鎖を引っ張り、唯世達を締め上げる。

ギリギリ・・・

唯世

「うああ！！」

歌唄

「唯世！亜夢、もう止めて・・・」

亜夢

「シャイニングチェーン！！」

亜夢は歌唄にも鎖を伸ばす。

ギョオ！

歌唄

「エンジェルスピード！！」

歌唄は鎖を避けながら、亜夢に突っ込んだ。

ヒュンヒュン！！

歌唄

「亜夢ーっ！！」

ゴオッ！！

歌唄は亜夢を抱き締める。

ギュッ・・・

亜夢

「！？」

歌唄

「亜夢、怖い思いをさせてゴメン！アタシ、あなたのためなら頑張

れるから・・・お願い！自分を見失わないで・・・」

歌唄の言葉に、亜夢は涙を流した。

亜夢

「歌・・・唄・・・」

亜夢の動きが止まる。

ルル

「亜夢の動きが止まった！」

唯世

「今だ、歌唄ちゃん!!」

歌唄

「エンジェルクレイドル!!」

歌唄は美しい歌声で、亜夢からミヤを引き剥がした。

パアアアア・・・

ミヤ

「キャア!!」

亜夢

「う・・・歌唄？」

歌唄

「亜夢！正気に戻ったのね？」

亜夢

「歌唄・・・ありがとう!!」

亜夢は歌唄に抱きつく。

菜夢

「おのれ・・・よくも・・・」

ミヤ

「こうなったら、奥の手よ!」

菜夢

「やれ、ミヤ!」

ミヤ

「ハアアアア!!」

ミヤは突然、巨大化した。

ズオオオオオ・・・

そして、ミヤの周りにライ達が現れる。

ポン!

唯世

「時臣達のしゅごキャラが!」

ミヤは巨大なタマゴになると、ライ達を次々と飲み込んだ。

ゴクン、ゴクン！

なぎひこ

「他のしゅごキャラを飲み込んだ！？」

菜夢

「ミヤは特殊なしゅごキャラだね。他のしゅごキャラを飲み込む事で力を増す事ができるのよ！アタシの心、アンロック・・・」

巨大タマゴと化したミヤが、菜夢を飲み込む。

ゴクン！

パン！

菜夢

「ダークキャラなり！ファントムウィザード！！」

菜夢はミヤとキャラなりし、魔女の様な姿になった。

菜夢

「これがアタシの最強のダークキャラなり！仲間の力を得たアタシの魔力は数10倍にも跳ね上がる！さあ、アタシを止められるかしら？クラッシュボンバー！！」

菜夢はドレスから取り出した爆弾を爆発させ、衝撃波を放つ。

ドゴォー！！

唯世・なぎひこ

「うわっ!!」

りま・やや

「キヤア!!」

亜夢

「みんな!!」

菜夢

「どう?近づけなければアタシを倒す事はできないわよ!!」

ルル

「確かにそうだわ・・・どうすれば良いの?」

その時、亜夢のハンプティ・ロックが7色に光った。

パアアアア・・・

亜夢

「ハンプティ・ロックが7色に光ってる・・・」

歌唄

「まさか、また・・・?」

亜夢・歌唄・ルル

「アタシの心・・・アンロック!!」

ルル

「キャラなり!ドロシアプリンスス!!」

歌唄

「キャラなり！ウェディングチャーム！」

亜夢

「キャラなり！アミレットフォーチュン！」

亜夢達はキャラなりした。

しかも、今までのキャラなりとは全く違う姿に！！

亜夢

「これは・・・」

ラン『亜夢ちゃん！』

亜夢

「ラン！」

ミキ『ボク達4人共いるよ！』

亜夢

「4人全員！？」

スウ『そうですよう！』

ダイヤ『ウフフ』

歌唄

「この姿・・・エルとイル両方とのキャラなりなの？」

イル『そうみたいだぜ!』

エル『合体だなんて、嬉しいですう!』

ナナ『ルル!新しいキャラなりだぎゃ!』

ルル

「ええ・・・でも恐らく、この姿はナナだけとのキャラなりじゃない・・・(そう、アタシの中にもう1つタマゴがある・・・この感じ、どこか懐かしい・・・)」

菜夢

「そ、そんな・・・3人共新しいキャラなりだなんて・・・でも、それだけじゃアタシには勝てないわよ!ボムフラワー!」

菜夢は花の爆弾を複数投げる。

ブン、ブン!

歌唄

「ブーケシールド!」

歌唄はブーケをかざし、巨大化させて盾にする。

ドン!!

ドゴォ!!

菜夢

「クツ・・・どうして・・・？どうしてあなた達は、こんな状況下でもアタシに立ち向かって来れるの？何が・・・何があなた達をそこまで駆り立てるのよ！？」

ルル

「信じてるからよ・・・亜夢や、みんなの事を・・・」

莱夢

「信じ・・・てる？」

歌唄

「そうよ。あなた、仲間達を信じた事があつたのかしら？」

莱夢

「そういえば・・・アタシは仲間達を1度も信じた事がないわ・・・今回だって、最終的にアタシ1人でどうにかしようとしてる・・・ハハ・・・負けて当然だわ・・・こんなアタシになんか、友達なんて1人もできないわよね・・・」

亜夢

「そんな事ない！」

莱夢

「・・・え？」

亜夢

「今からでもまだ間に合うよ！何ならアタシ達も友達になってあげるから！」

莱夢

「本当？」

亜夢

「うん！心からの友達にね！」

菜夢

「心からの・・・友達・・・」

菜夢が巨大な×タマに包まれる。

亜夢

「ネガティブハートに、ロックオン！！」

亜夢・歌唄・ルル

「トライアングルハート・フルボリウム！！！」

亜夢達3人から放たれた光が、菜夢を浄化した。

パアアアア・・・

菜夢はその後、時臣達に謝っていた。

菜夢

「みんな、ごめんなさい・・・こんなアタシだけど、友達になってくれますか？」

静海

「何を言っているぜよ・・・オレ達と菜夢は、とっくの昔から友達

ぜよー！」

閨夜

「菜夢っちつてば、1人で何でも抱え込みすぎなのよー!!」

音譜

「あなたとアタシ達は運命共同体。辛くなった時は、いつでもアタシ達がそばにいる。」

時臣

「これからもボク達のリーダーでいてくださいね、菜夢・・・」

菜夢

「うん・・・ありがと、みんな・・・」

菜夢達の光景を、亜夢達は微笑ましく見つめていた。

その後菜夢達はイースターを辞め、外国へと旅立って行った。

でも、亜夢達は今も彼女達と連絡を取り合っている・・・

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9010m/>

しゅごキャラ！ ガーディアンVSダークガーディアン！！

2010年10月9日14時09分発行